

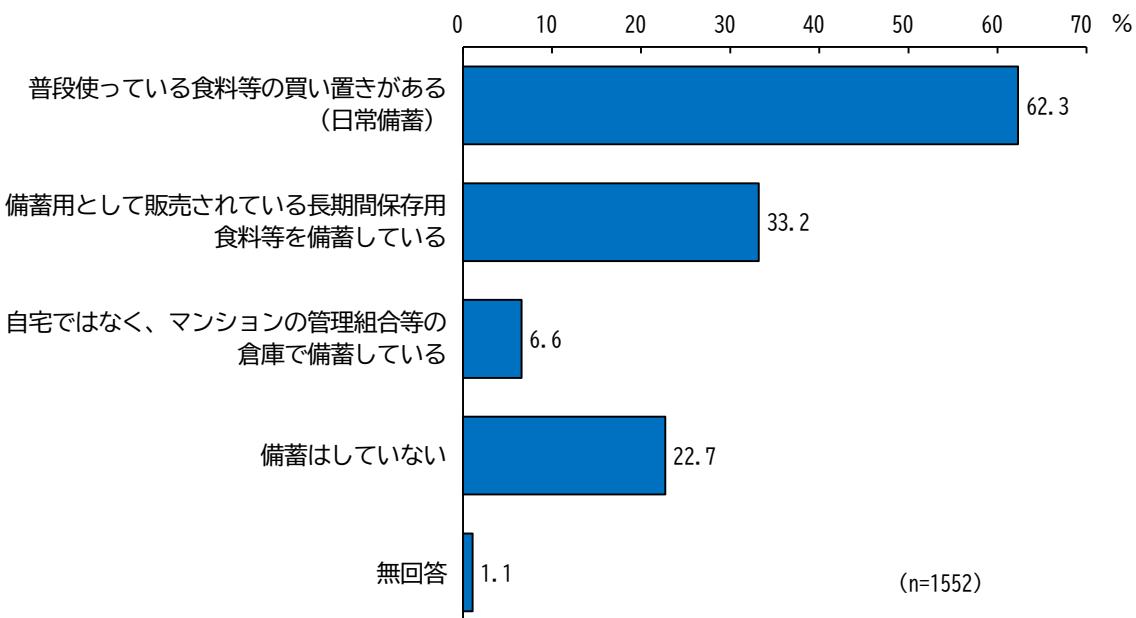
4. 防災対策

(1) 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄

◇「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」が6割強

問9 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。

（「1」、「2」、「3」は、○はいくつでも）



災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について聞いたところ、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」(62.3%) が6割強で最も高く、次いで「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」(33.2%) が3割となっている。一方、「備蓄はしていない」(22.7%) は2割強を占める。

年代別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は18～29歳（47.8%）と30～39歳（49.5%）が4割台と低く、他の年齢層は6割台と高くなっている。「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は30～39歳（42.1%）と40～49歳（41.2%）が4割強と高くなっている。「備蓄はしていない」は18～29歳（38.9%）が4割近くと最も高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 年代別

単位：%

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
全体 (n=1552)		62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
年代別	18～29歳 (n=157)	47.8	23.6	3.2	38.9	0.0
	30～39歳 (n=214)	49.5	42.1	6.1	24.3	0.9
	40～49歳 (n=272)	67.3	41.2	9.9	12.9	0.0
	50～59歳 (n=293)	62.5	30.0	8.2	25.6	0.7
	60～69歳 (n=225)	69.8	30.7	7.1	21.3	0.4
	70～79歳 (n=239)	67.4	33.1	5.0	21.3	1.7
	80歳以上 (n=141)	68.1	29.1	3.5	18.4	5.0

同居世帯の構成別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は三世代家族（66.7%）が6割半ばを超える最も高く、「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は夫婦のみ（37.9%）が4割近くで最も高くなっている。「備蓄はしていない」はその他（32.9%）が3割強、一人暮らし（29.6%）が3割弱と高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 同居世帯の構成別

単位：%

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
全体 (n=1552)		62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
同居世帯の構成別	一人暮らし (n=351)	61.0	24.5	3.7	29.6	0.9
	夫婦のみ (n=398)	60.1	37.9	7.3	22.9	1.8
	二世代家族 (n=620)	65.6	36.9	9.5	17.1	0.6
	三世代家族 (n=66)	66.7	36.4	0.0	24.2	0.0
	その他 (n=76)	50.0	26.3	1.3	32.9	0.0

ライフステージ別でみると、「普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）」は家族成長前期（69.5%）と高齢期（69.1%）が7割弱と高くなっている。「備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している」は家族成長前期（48.4%）が5割近くと最も高く、次いで家族形成期（40.9%）が4割となっている。「備蓄はしていない」は一人暮らし（34.8%）が3割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた食料や飲料水の備蓄 ライフステージ別

単位：%

		普段使っている食料等の買い置きがある（日常備蓄）	備蓄用として販売されている長期間保存用食料等を備蓄している	自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	備蓄はしていない	無回答
全体（n=1552）		62.3	33.2	6.6	22.7	1.1
ライフステージ別	家族形成期（n=186）	54.8	40.9	6.5	24.7	0.5
	家族成長前期（n=128）	69.5	48.4	13.3	7.0	0.8
	家族成長後期（n=117）	68.4	38.5	9.4	17.1	0.0
	家族成熟期（n=112）	60.7	18.8	8.0	29.5	0.0
	高齢期（n=236）	69.1	33.1	6.8	19.5	2.1
	高齢期（一人暮らし）（n=141）	68.8	24.8	2.1	22.7	2.1
	一人暮らし（n=201）	54.7	23.9	5.0	34.8	0.0
	その他（n=431）	59.9	35.0	5.6	22.3	1.6

(1-1) 災害時に備えた備蓄の量

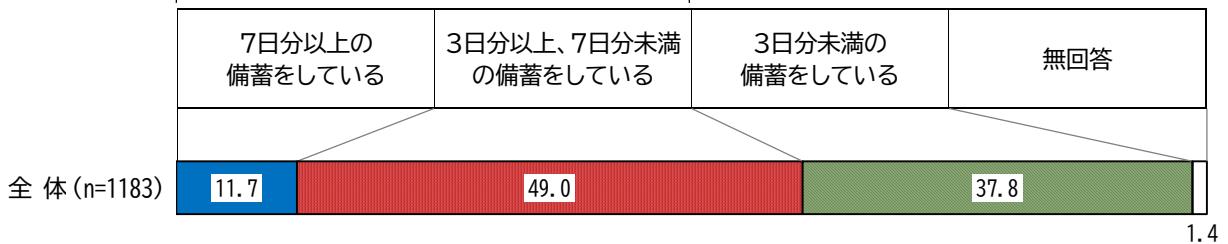
◇ 《3日分以上の備蓄をしている》が6割強

問9-1 (問9で「1」～「3」とお答えの方に伺います)

何日分の備蓄をしていますか。(○は1つだけ)

《3日分以上の備蓄をしている》 60.7

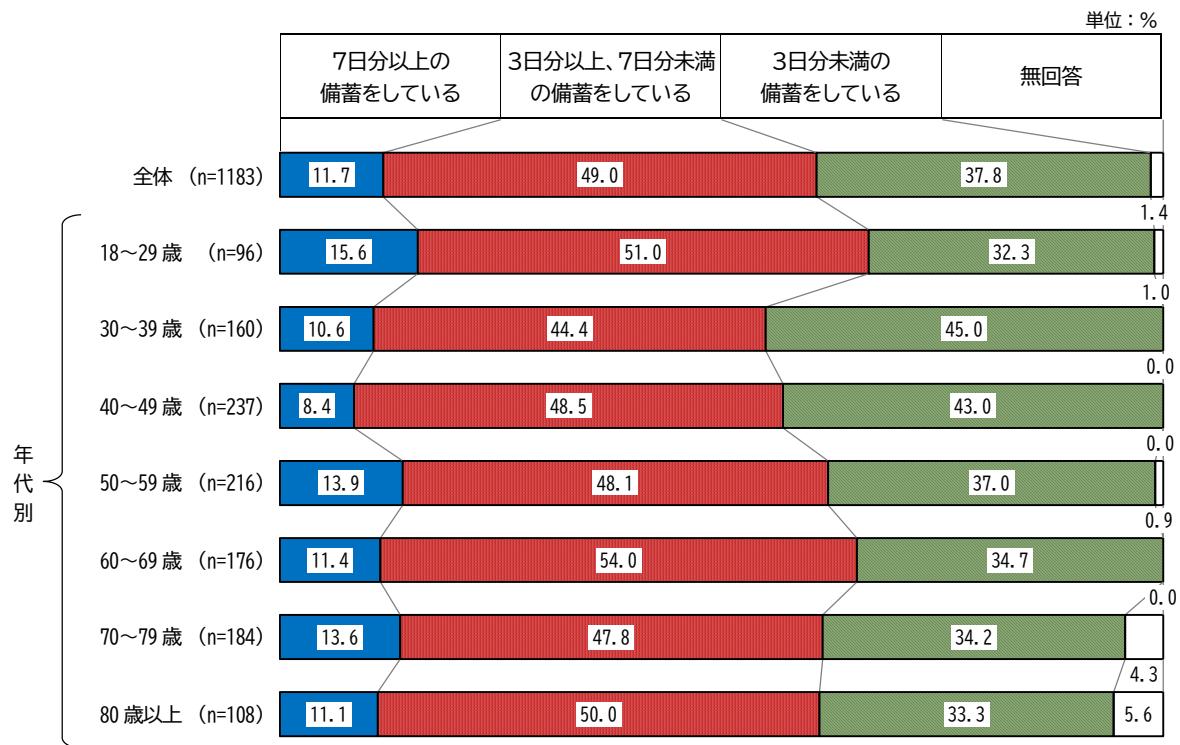
単位: %



災害時に備えた備蓄の量について聞いたところ、「7日分以上の備蓄をしている」(11.7%)と「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」(49.0%)を合わせた《3日分以上の備蓄をしている》(60.7%)は6割強となっている。

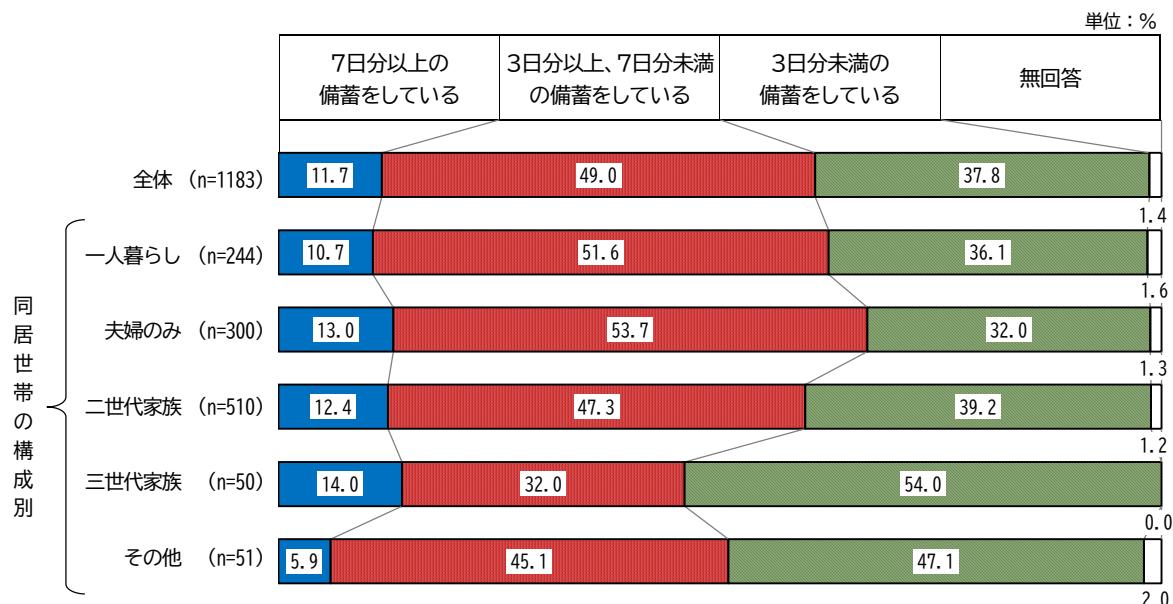
年代別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は18～29歳（15.6%）が1割半ばで最も高く、「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は60～69歳（54.0%）が5割半ば近くと最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は30～39歳（45.0%）が4割半ばと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 年代別



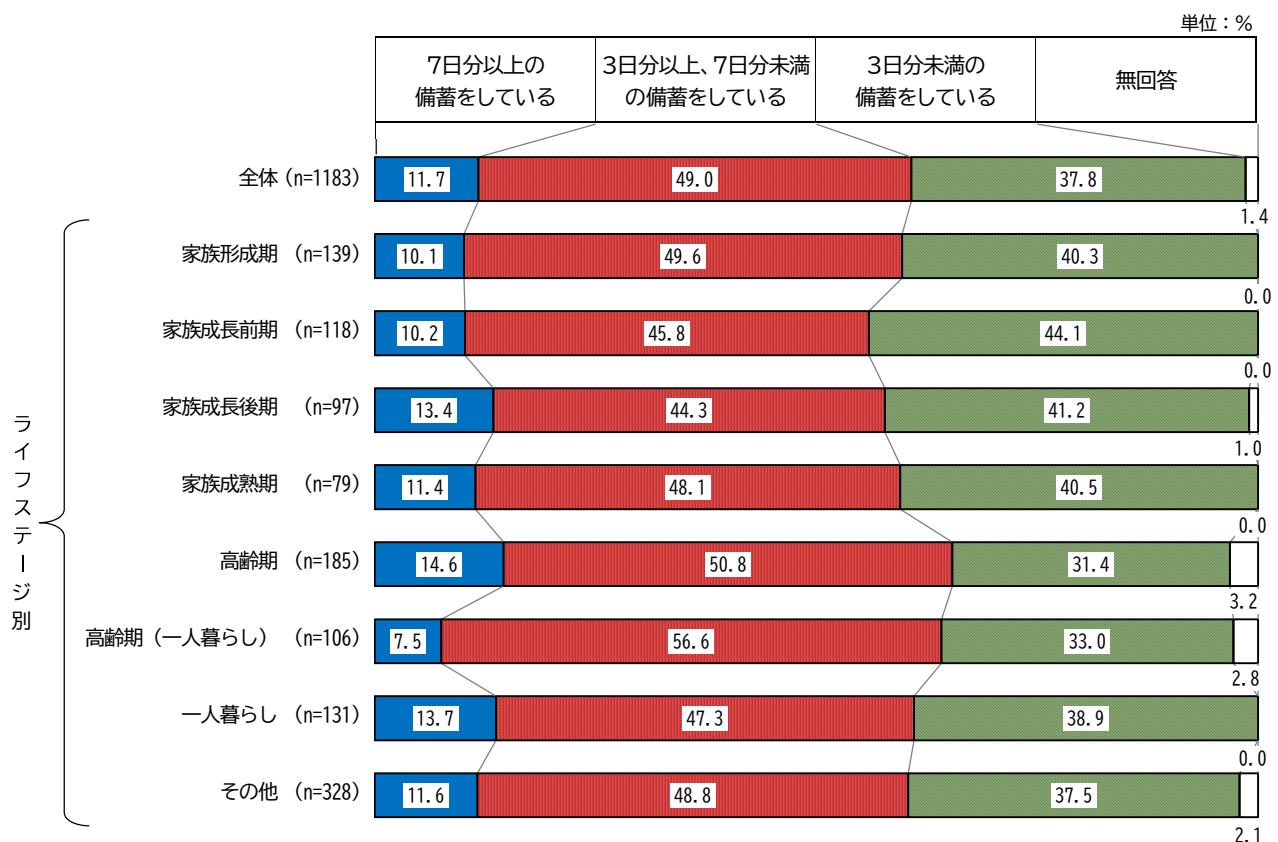
同居世帯の構成別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は三世代家族（14.0%）が1割半ば近くと最も高く、「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は夫婦のみ（53.7%）が5割半ば近く、一人暮らし（51.6%）が5割強と高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は三世代家族（54.0%）が5割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は高齢期（14.6%）、一人暮らし（13.7%）、家族成長後期（13.4%）が1割半ば近くとなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は高齢期（一人暮らし）（56.6%）が5割半ばを超えて最も高く、「3日分未満の備蓄をしている」は家族成長前期（44.1%）が4割半ば近くと最も高くなっている。

災害時に備えた備蓄の量 ライフステージ別

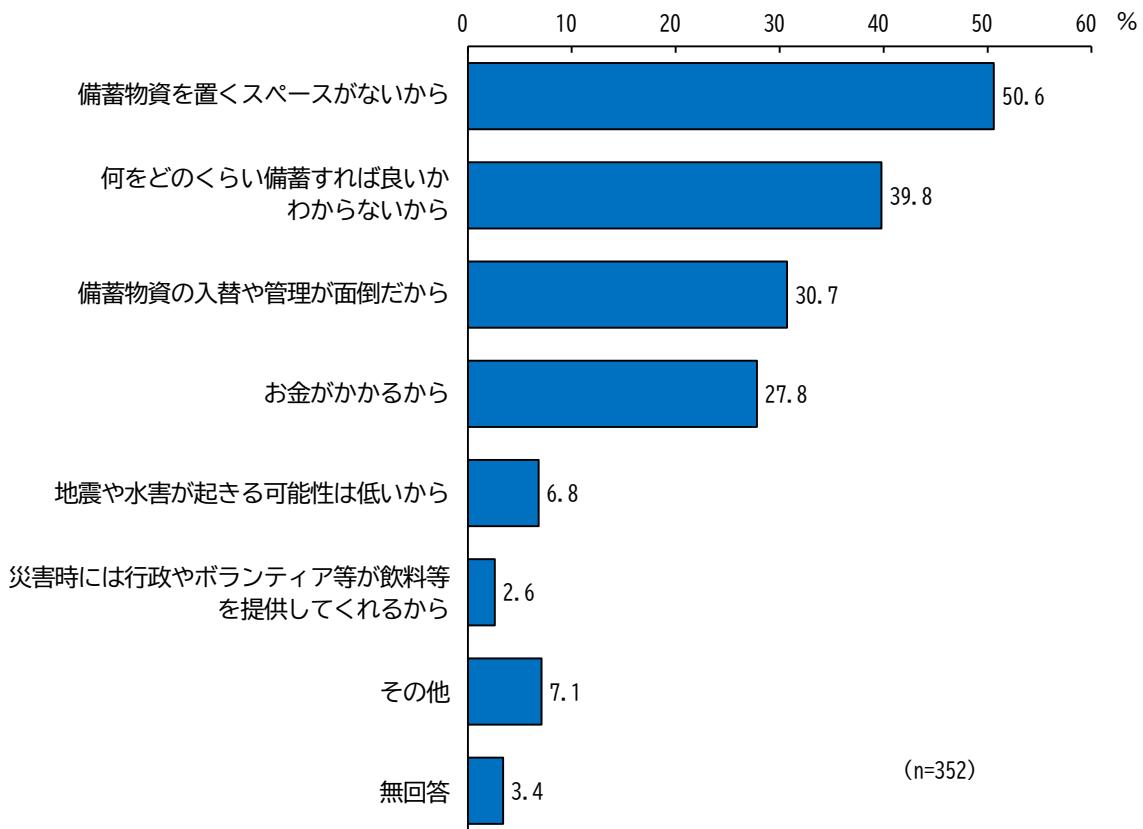


(1-2) 備蓄を行っていない理由

◇「備蓄物資を置くスペースがないから」が5割

問9-2 (問9で「4」とお答えの方に伺います)

食料や飲料水の備蓄を行っていない理由について、次の中から当てはまるものをお選びください。(○はいくつでも)



備蓄を行っていない理由について聞いたところ、「備蓄物資を置くスペースがないから」(50.6%)が5割と最も高く、以下、「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」(39.8%)、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」(30.7%)が続いている。

年代別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」では、40～49歳（80.0%）が8割と最も高くなっている。「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は60～69歳（56.3%）が5割半ばを超え、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」は70～79歳（39.2%）が4割弱と高くなっている。「お金がかかるから」は40～49歳（40.0%）が4割と最も高くなっている。

備蓄を行っていない理由 年代別

単位：%

		備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=352)		50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
年代別	18～29歳 (n=61)	57.4	31.1	24.6	36.1	3.3	1.6	1.6	3.3
	30～39歳 (n=52)	55.8	32.7	34.6	23.1	11.5	1.9	9.6	1.9
	40～49歳 (n=35)	80.0	45.7	25.7	40.0	5.7	0.0	5.7	0.0
	50～59歳 (n=75)	52.0	40.0	26.7	29.3	5.3	0.0	9.3	2.7
	60～69歳 (n=48)	43.8	56.3	35.4	18.8	8.3	4.2	2.1	2.1
	70～79歳 (n=51)	35.3	35.3	39.2	23.5	11.8	9.8	9.8	5.9
	80歳以上 (n=26)	30.8	42.3	34.6	26.9	0.0	0.0	11.5	7.7

同居世帯の構成別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」は三世代家族（62.5%）が6割強、「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は二世代家族（50.0%）が5割と最も高くなっている。「お金がかかるから」は一人暮らし（30.8%）と二世代家族（30.2%）が3割台と高くなっている。

備蓄を行っていない理由 同居世帯の構成別

単位：%

		備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=352)		50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
同居世帯の構成別	一人暮らし (n=104)	49.0	30.8	31.7	30.8	4.8	1.0	10.6	1.9
	夫婦のみ (n=91)	51.6	38.5	29.7	24.2	11.0	2.2	3.3	4.4
	二世代家族 (n=106)	51.9	50.0	31.1	30.2	8.5	4.7	4.7	2.8
	三世代家族 (n=16)	62.5	43.8	37.5	18.8	0.0	0.0	12.5	12.5
	その他 (n=25)	48.0	36.0	24.0	28.0	0.0	4.0	12.0	0.0

ライフステージ別でみると、「備蓄物資を置くスペースがないから」では、家族成熟期（57.6%）が5割半ばを超える最も高くなっている。「何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は家族成熟期（54.5%）と高齢期（52.2%）が5割台、「備蓄物資の入替や管理が面倒だから」は高齢期（一人暮らし）（43.8%）が4割半ば近くとなっている。「お金がかかるから」は家族成長後期（40.0%）が4割と高くなっている。

備蓄を行っていない理由 ライフステージ別

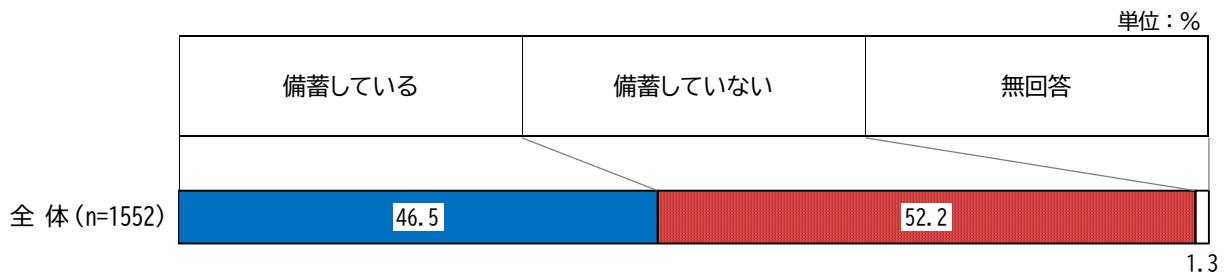
単位：%

		備蓄物資を置くスペースがないから	何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	備蓄物資の入替や管理が面倒だから	お金がかかるから	地震や水害が起きる可能性は低いから	災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	その他	無回答
ライフステージ別	全体 (n=352)	50.6	39.8	30.7	27.8	6.8	2.6	7.1	3.4
	家族形成期 (n=46)	56.5	39.1	28.3	17.4	6.5	0.0	4.3	0.0
	家族成長前期 (n=9)	55.6	33.3	44.4	44.4	11.1	0.0	22.2	11.1
	家族成長後期 (n=20)	55.0	30.0	20.0	40.0	5.0	10.0	5.0	5.0
	家族成熟期 (n=33)	57.6	54.5	33.3	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
	高齢期 (n=46)	45.7	52.2	28.3	17.4	10.9	6.5	4.3	6.5
	高齢期(一人暮らし) (n=32)	34.4	40.6	43.8	28.1	6.3	0.0	9.4	6.3
	一人暮らし (n=70)	55.7	25.7	27.1	32.9	4.3	1.4	11.4	0.0
	その他 (n=96)	47.9	41.7	31.3	30.2	6.3	3.1	7.3	5.2

(2)災害用トイレの備蓄

◇「備蓄していない」が5割強

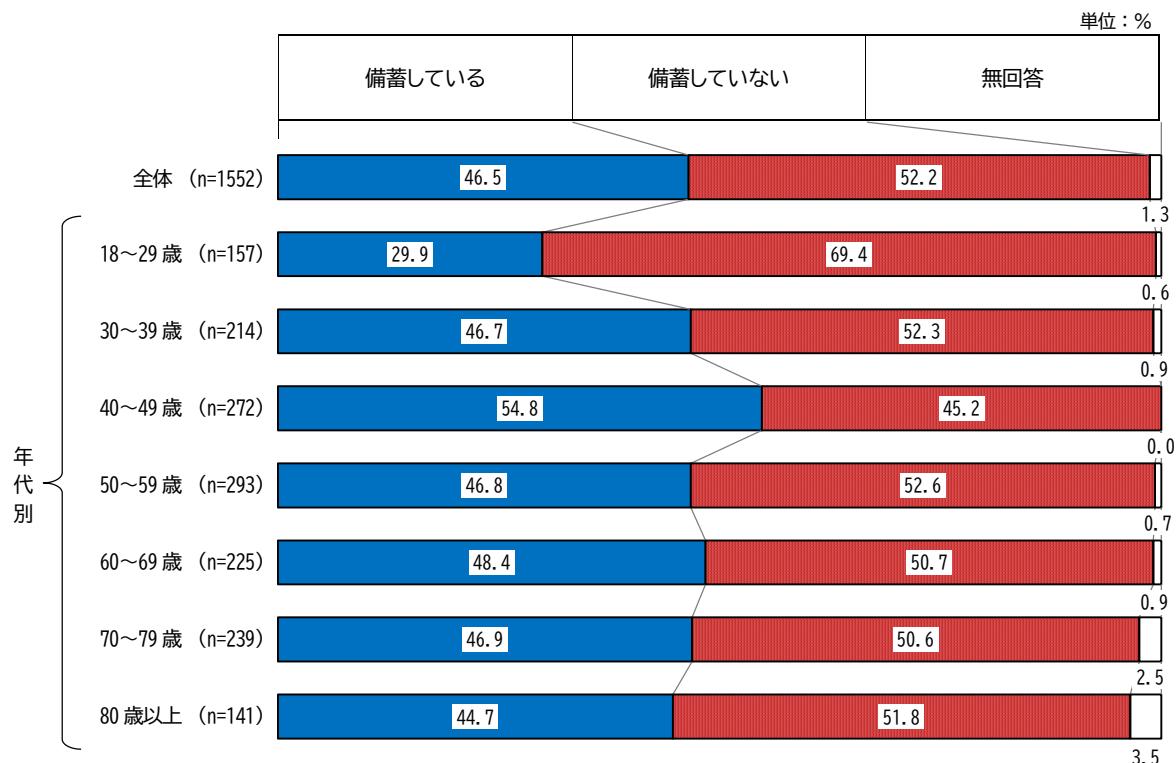
問10 あなたの家庭では、災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していますか。
(○は1つだけ)



災害用トイレの備蓄について聞いたところ、「備蓄していない」(52.2%) は5割強を占める。一方、「備蓄している」(46.5%) も5割に近くなっている。

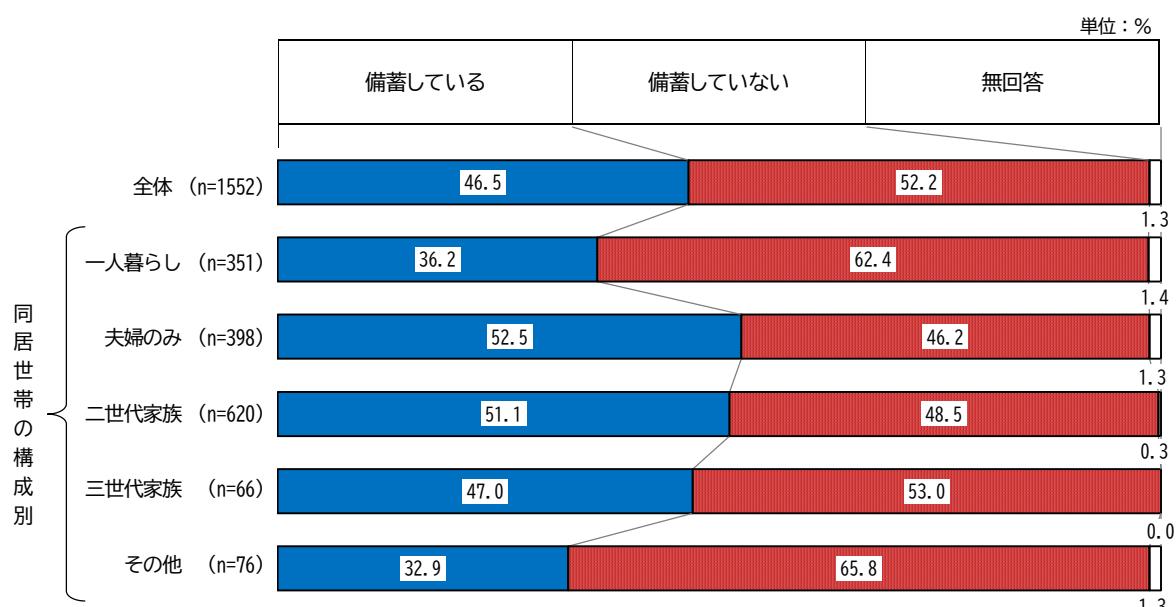
年代別でみると、「備蓄している」は40～49歳（54.8%）が5割半ば近くと最も高くなっている。一方、「備蓄していない」は18～29歳（69.4%）が7割弱と最も高くなっている。

災害用トイレの備蓄 年代別



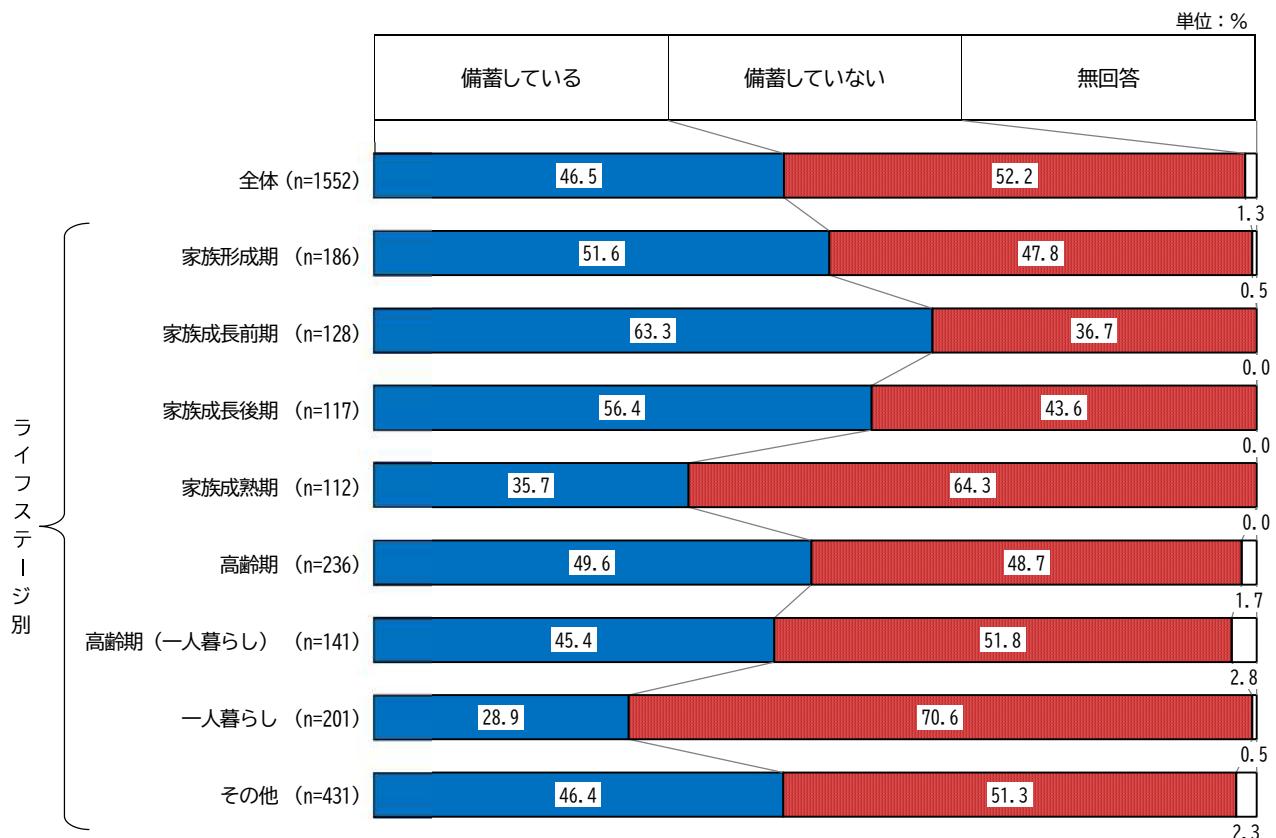
同居世帯の構成別でみると、「備蓄している」は夫婦のみ（52.5%）、二世代家族（51.1%）が5割強と高くなっている。一人暮らし（36.2%）とその他（32.9%）は3割台にとどまっている。

災害用トイレの備蓄 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、「備蓄している」は家族成長前期（63.3%）が6割半ば近く、家族成長後期（56.4%）が5割半ばを超えている。一方、家族成熟期（35.7%）と一人暮らし（28.9%）は他のライフステージに比べ低くなっている。

災害用トイレの備蓄 ライフステージ別

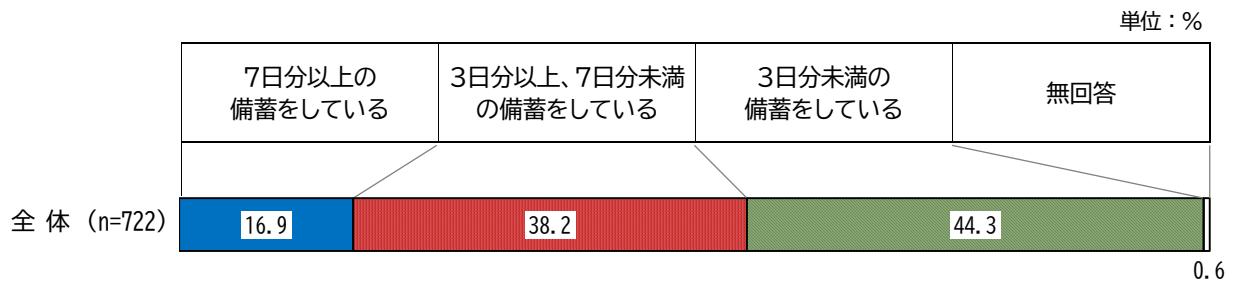


(2-1)災害用トイレの備蓄の量

◇「3日分未満の備蓄をしている」が4割強

問10-1 (問10で「1」とお答えの方に伺います)

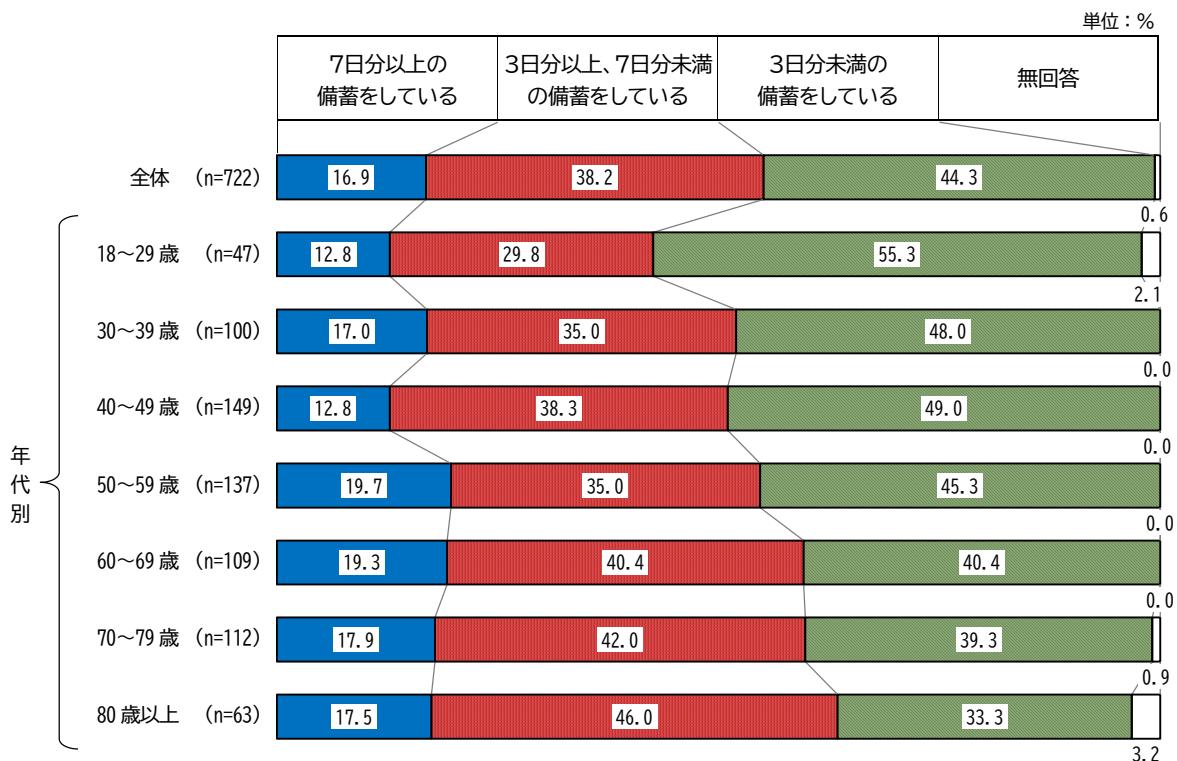
トイレの平均回数は、大人1日5回と言われています。何日分の災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していますか。（○は1つだけ）



災害用トイレの備蓄の量について聞いたところ、「3日分未満の備蓄をしている」(44.3%) が4割強と最も高く、次いで「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」(38.2%) が4割近くとなっている。「7日分以上の備蓄をしている」(16.9%) は1割半ばを超えている。

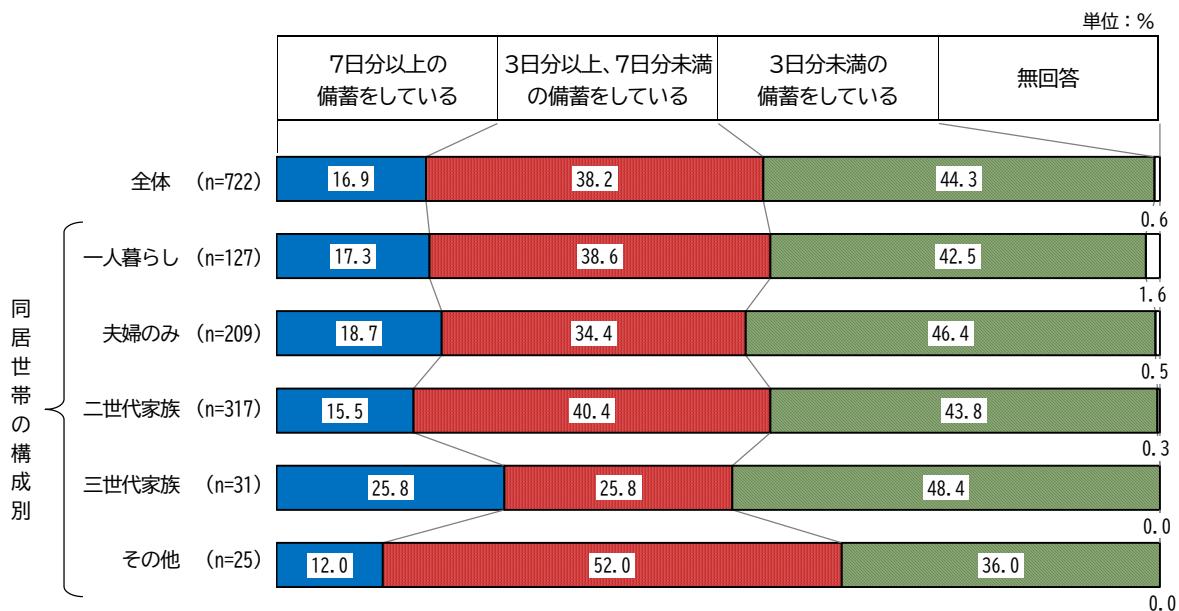
年代別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は50～59歳（19.7%）と60～69歳（19.3%）が2割弱と高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は80歳以上（46.0%）で4割半ばを超えて最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は18～29歳（55.3%）で5割半ばと最も高くなっている。

災害用トイレの備蓄の量 年代別



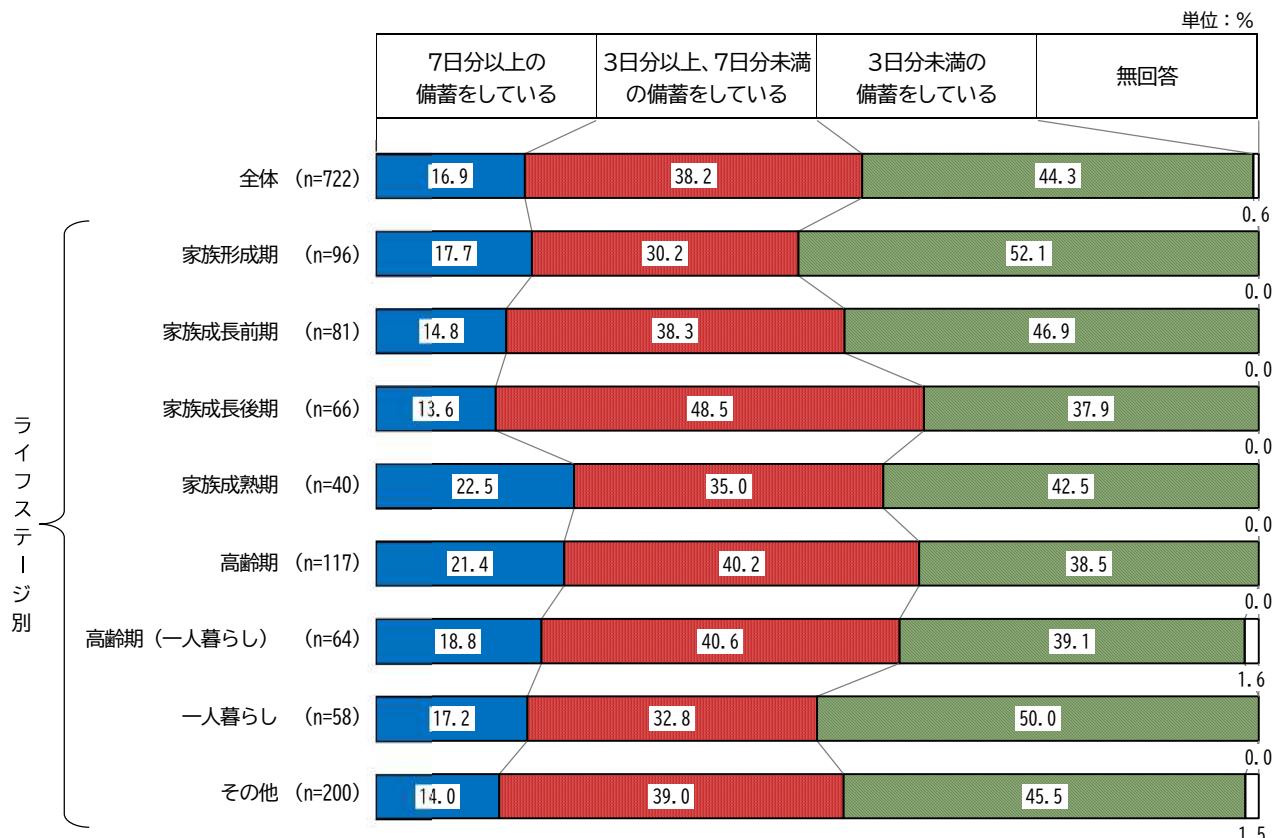
同居世帯の構成別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は三世代家族（25.8%）が2割半ばと最も高く、次いで夫婦のみ（18.7%）が2割近くと高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は二世代家族（40.4%）が4割、「3日分未満の備蓄をしている」は三世代家族（48.4%）が5割近くと高くなっている。

災害用トイレの備蓄の量 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、「7日分以上の備蓄をしている」は家族成熟期（22.5%）と高齢期（21.4%）が2割強と高くなっている。「3日分以上、7日分未満の備蓄をしている」は家族成長後期（48.5%）が5割近くと最も高くなっている。「3日分未満の備蓄をしている」は家族形成期（52.1%）が5割強、一人暮らし（50.0%）が5割と高くなっている。

災害用トイレの備蓄の量 ライフステージ別

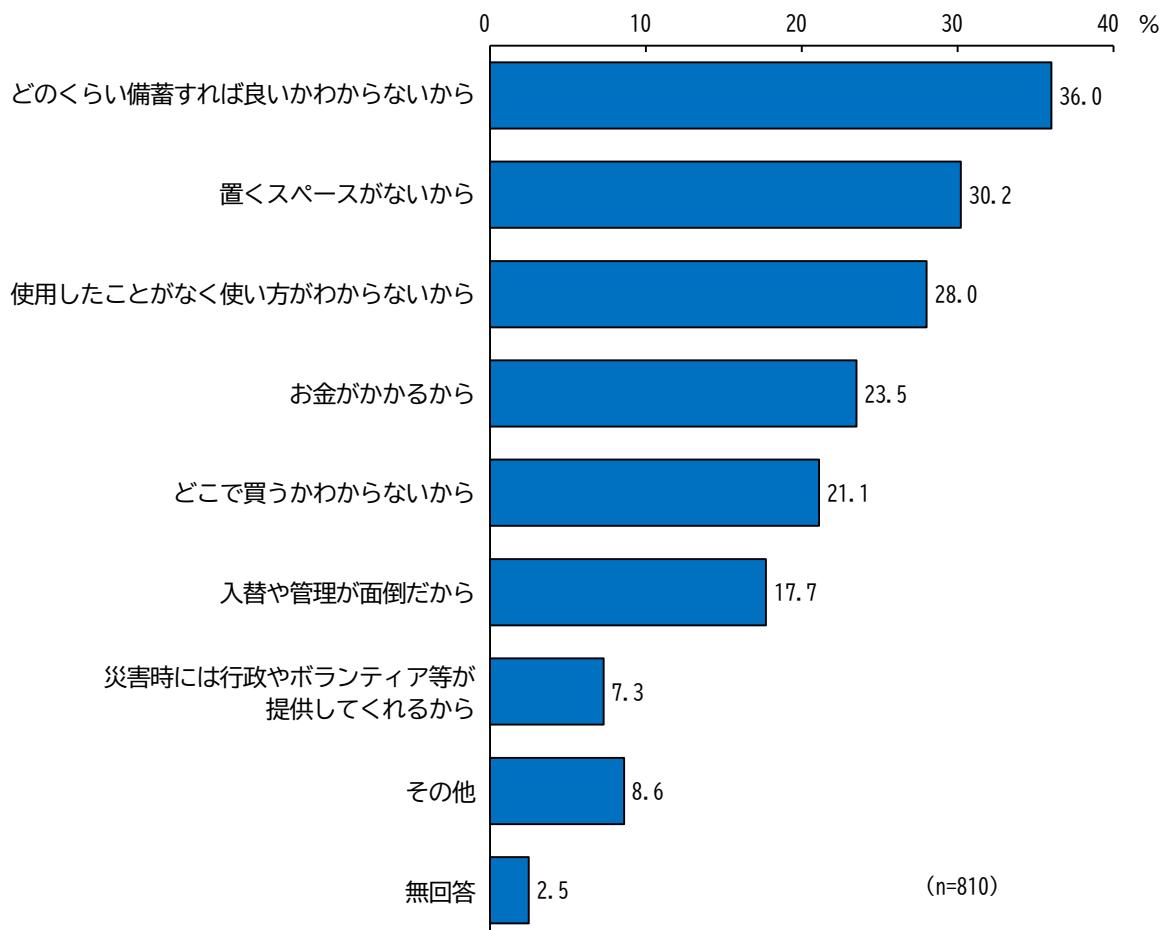


(2-2) 災害用トイレを備蓄していない理由

◇「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」が4割近く

問10-2 (問10で「2」とお答えの方に伺います)

災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していない理由を次の中からお選びください。（○はいくつでも）



災害用トイレを備蓄していない理由について聞いたところ、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」(36.0%) が4割近く最も高く、以下、「置くスペースがないから」(30.2%)、「使用したことがなく使い方がわからないから」(28.0%) が続いている。

年代別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は60歳以上が4割台、「置くスペースがないから」は18~59歳が3割台と高くなっている。「使用したことがなく使い方がわからないから」は50歳以上が3割台と他の年齢層より高くなっている。

災害用トイレを備蓄していない理由 年代別

単位：%

	どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時に行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=810)	36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
年代別	18~29歳 (n=109)	25.7	35.8	21.1	24.8	23.9	19.3	4.6	4.6
	30~39歳 (n=112)	33.9	34.8	25.9	25.0	15.2	23.2	8.0	6.3
	40~49歳 (n=123)	29.3	39.0	18.7	24.4	19.5	17.1	4.1	14.6
	50~59歳 (n=154)	34.4	32.5	30.5	29.9	18.8	14.9	7.8	7.8
	60~69歳 (n=114)	43.9	26.3	31.6	21.9	22.8	18.4	8.8	7.9
	70~79歳 (n=121)	44.6	19.8	35.5	18.2	24.8	16.5	8.3	9.1
	80歳以上 (n=73)	42.5	20.5	34.2	16.4	24.7	15.1	11.0	11.0

同居世帯の構成別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は二世代家族 (41.2%) が4割強で最も高くなっている。「置くスペースがないから」は三世代家族 (34.3%) が3割半ば近く、「使用したことがなく使い方がわからないから」は二世代家族 (32.9%) とその他 (32.0%) が3割強と高くなっている。

災害用トイレを備蓄していない理由 同居世帯の構成別

単位：%

	どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時に行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=810)	36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
同居世帯の構成別	一人暮らし (n=219)	29.2	29.7	24.2	23.7	25.6	17.8	5.9	9.1
	夫婦のみ (n=184)	35.3	29.9	24.5	22.8	19.0	16.3	7.6	8.2
	二世代家族 (n=301)	41.2	29.9	32.9	22.9	20.3	17.9	7.6	9.0
	三世代家族 (n=35)	37.1	34.3	28.6	31.4	22.9	20.0	8.6	2.9
	その他 (n=50)	38.0	32.0	32.0	24.0	16.0	20.0	10.0	12.0

ライフステージ別でみると、「どのくらい備蓄すれば良いかわからないから」は高齢期（44.3%）が4割半ば近く、「置くスペースがないから」は家族成熟期（37.5%）が3割半ばを超えて高くなっている。「使用したことがなく使い方がわからないから」は高齢期（38.3%）が4割近く、高齢期（一人暮らし）（37.0%）が3割半ばを超えて高くなっている。

災害用トイレを備蓄していない理由 ライフステージ別

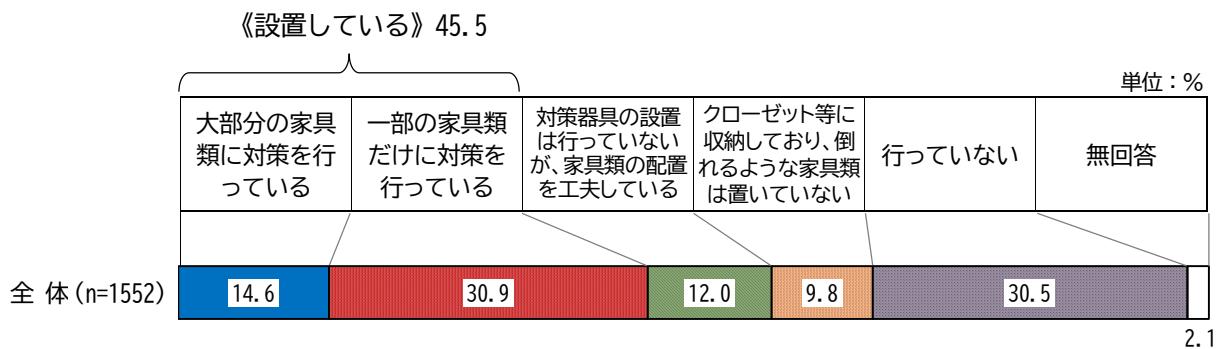
単位：%

		どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	置くスペースがないから	使用したことがなく使い方がわからないから	お金がかかるから	どこで買うかわからないから	入替や管理が面倒だから	災害時に行政やボランティア等が提供してくれるから	その他	無回答
全体 (n=810)		36.0	30.2	28.0	23.5	21.1	17.7	7.3	8.6	2.5
ライフステージ別	家族形成期 (n=89)	33.7	32.6	23.6	20.2	19.1	22.5	3.4	5.6	1.1
	家族成長前期 (n=47)	40.4	23.4	25.5	19.1	14.9	25.5	4.3	17.0	2.1
	家族成長後期 (n=51)	35.3	33.3	27.5	31.4	21.6	13.7	13.7	5.9	0.0
	家族成熟期 (n=72)	33.3	37.5	30.6	30.6	15.3	13.9	5.6	6.9	2.8
	高齢期 (n=115)	44.3	26.1	38.3	16.5	22.6	19.1	11.3	5.2	6.1
	高齢期(一人暮らし) (n=73)	39.7	19.2	37.0	17.8	28.8	15.1	5.5	12.3	2.7
	一人暮らし (n=142)	23.9	34.5	16.9	26.8	23.9	19.7	6.3	7.7	0.0
	その他 (n=221)	39.4	30.8	28.5	24.9	19.9	14.9	7.7	10.4	3.2

(3) 家具の転倒・落下防止

◇ 《設置している》が4割を超える、「行っていない」が3割

問11 あなたの家では、地震に備え、家具類の転倒・落下・移動防止対策器具による対策を行っていますか。(○は1つだけ)

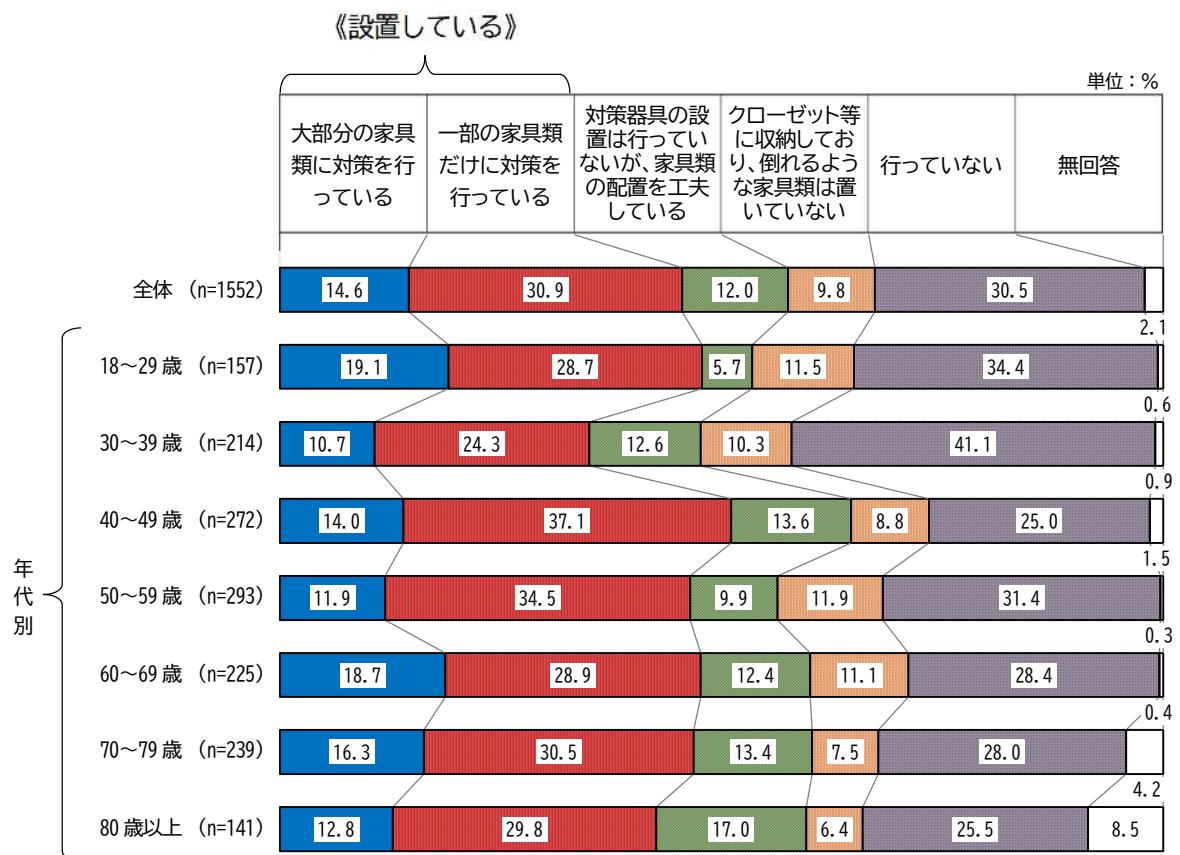


(注) 《設置している》 = 「大部分の家具類に対策を行っている」 + 「一部の家具類だけに対策を行っている」

家具の転倒・落下防止について聞いたところ、「一部の家具類だけに対策を行っている」(30.9%)と「大部分の家具類に対策を行っている」(14.6%)を合わせた《設置している》(45.5%)は4割を超えており、「対策器具の設置は行っていないが、家具類の配置を工夫している」(12.0%)が1割強、「クローゼット等に収納しており、倒れるような家具類は置いていない」(9.8%)は1割弱となっている。一方、「行っていない」(30.5%)は3割となっている。

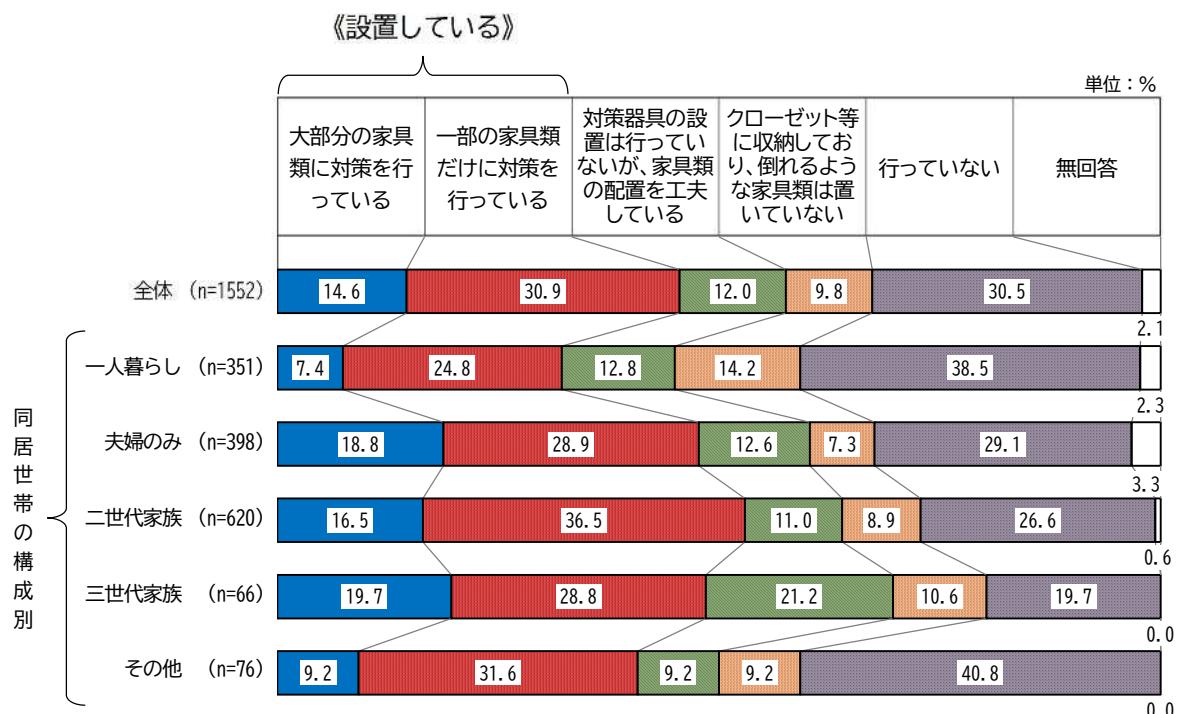
年代別でみると、《設置している》は40～49歳（51.1%）が5割強と最も高くなっている。「行っていない」は30～39歳（41.1%）が4割強と最も高く、18～29歳（34.4%）も3割半ば近くとなっている。

家具の転倒・落下防止 年代別



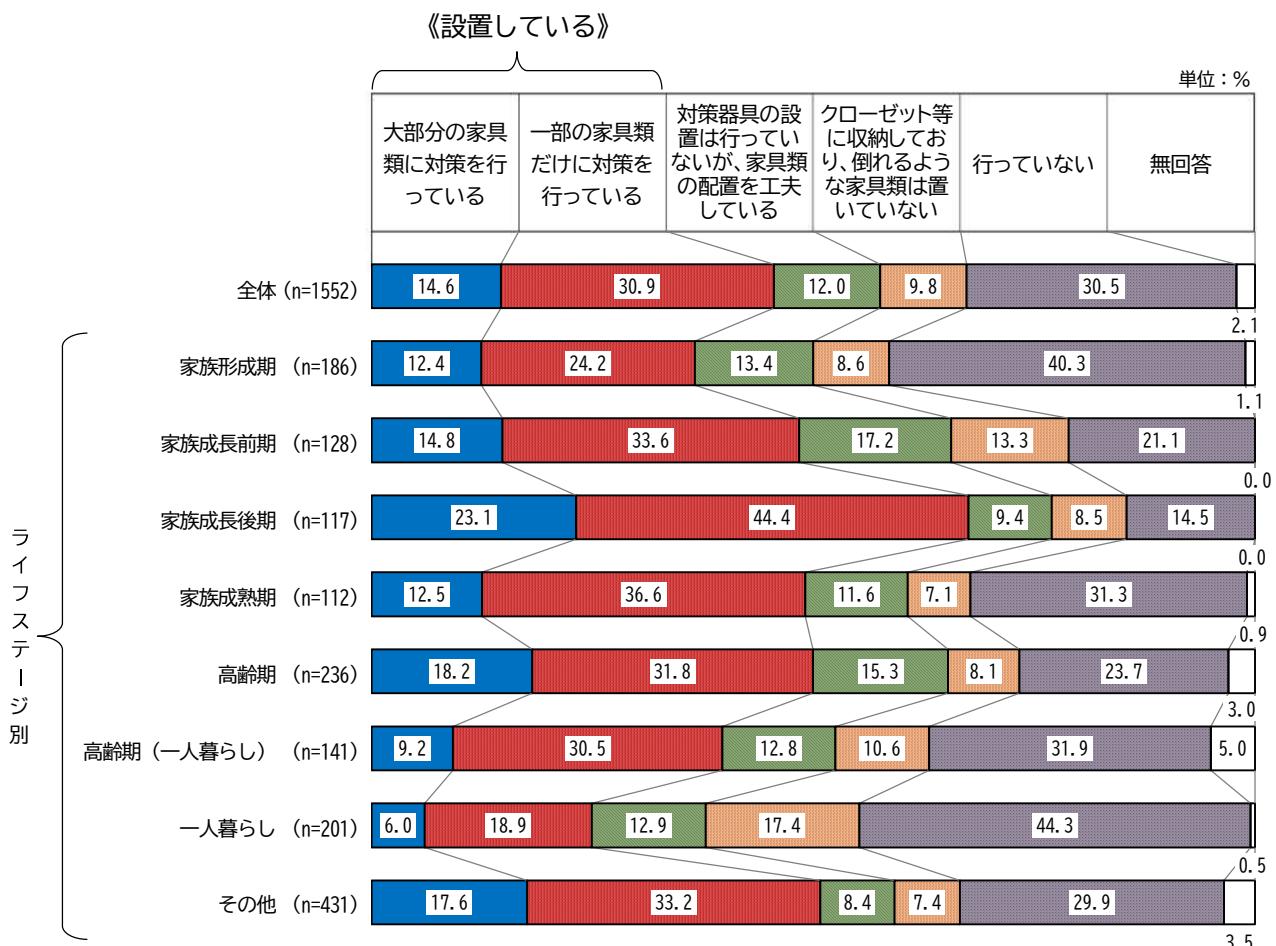
同居世帯の構成別でみると、《設置している》は二世代家族（53.0%）が5割強と最も高く、三世代家族（48.5%）も5割近くと高くなっている。「行っていない」はその他（40.8%）が4割、一人暮らし（38.5%）が4割近くと高くなっている。

家具の転倒・落下防止 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、《設置している》は家族成長後期（67.5%）が6割半ばを超えて最も高くなっている。「行っていない」は一人暮らし（44.3%）が4割半ば近く、家族形成期（40.3%）、が4割と高くなっている。

家具の転倒・落下防止 ライフステージ別

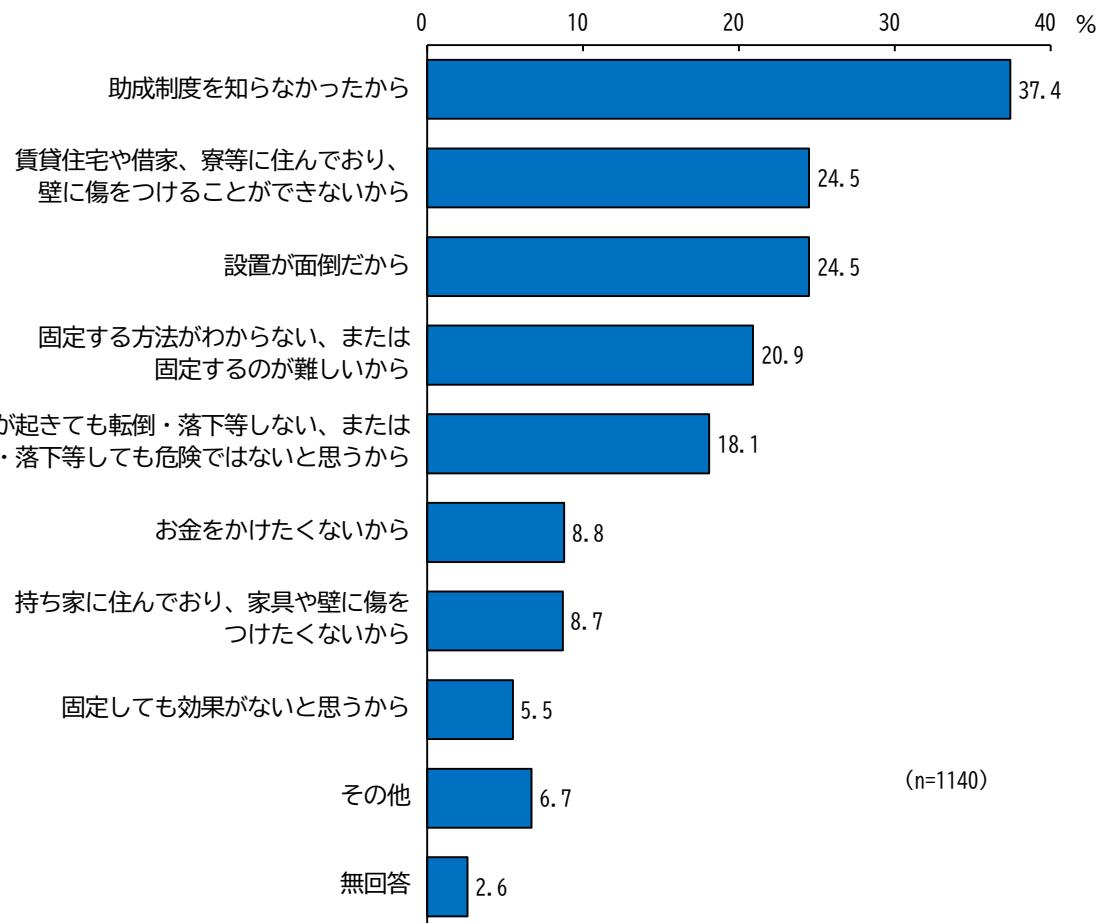


(3-1) 家具の転倒・落下防止器具の未設置理由

◇「助成制度を知らなかったから」が4割近く

問11-1 (問11で「2」、「3」、「5」とお答えの方に伺います)

区で家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置に5千円～2万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、一部の家具類だけに設置を行っている、または設置を行っていない理由を教えてください。（○はいくつでも）



家具の転倒・落下防止器具の未設置理由について聞いたところ、「助成制度を知らなかったから」(37.4%)が4割近くで最も高く、以下、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」(24.5%)、「設置が面倒だから」(24.5%)、「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」(20.9%)が続いている。

年代別でみると、「助成制度を知らなかったから」は30～49歳が4割台、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は18～39歳が3割台と高くなっている。「設置が面倒だから」は80歳以上（19.6%）を除くすべての年齢層で2割台となっている。「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」は80歳以上（35.3%）が3割半ばと高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 年代別

単位：%

	助成制度を知らなかったから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから	設置が面倒だから	固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから	地震が起きても転倒・落下等しない、または転倒・落下等しても危険ではないと思うから	お金をかけたくないから	持ち家に住んでおり、家具や壁に傷をつけたくないから	固定しても効果がないと思うから	その他	無回答
全体 (n=1140)	37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6
年代別	18～29歳 (n=108)	26.9	37.0	26.9	14.8	18.5	14.8	2.8	1.9	4.6
	30～39歳 (n=167)	42.5	37.7	28.7	15.6	12.6	9.0	8.4	3.6	2.4
	40～49歳 (n=206)	40.8	25.7	25.7	19.9	18.4	6.8	10.7	4.4	8.7
	50～59歳 (n=222)	34.2	20.3	23.4	18.5	18.5	9.0	14.0	3.6	11.3
	60～69歳 (n=157)	39.5	21.0	23.6	22.3	19.7	9.6	10.2	10.8	5.1
	70～79歳 (n=172)	39.0	18.0	23.3	24.4	22.1	9.3	5.2	7.0	5.2
	80歳以上 (n=102)	36.3	12.7	19.6	35.3	15.7	2.9	3.9	7.8	5.9

同居世帯の構成別でみると、「助成制度を知らなかったから」は三世代家族（41.3%）が4割強、二世代家族（40.5%）が4割と高くなっている。「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は一人暮らし（38.2%）が4割近くと高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 同居世帯の構成別

単位：%

	助成制度を知らなかったから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから	設置が面倒だから	固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから	地震が起きても転倒・落下等しない、または転倒・落下等しても危険ではないと思うから	お金をかけたくないから	持ち家に住んでおり、家具や壁に傷をつけたくないから	固定しても効果がないと思うから	その他	無回答
全体 (n=1140)	37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6
同居世帯の構成別	一人暮らし (n=267)	33.7	38.2	18.7	23.2	18.7	12.7	4.9	4.5	5.6
	夫婦のみ (n=281)	37.0	26.3	24.6	17.1	17.4	6.0	9.3	7.1	6.4
	二世代家族 (n=459)	40.5	17.6	28.8	20.9	19.2	7.2	10.0	5.0	7.0
	三世代家族 (n=46)	41.3	8.7	23.9	32.6	19.6	13.0	23.9	6.5	6.5
	その他 (n=62)	32.3	24.2	17.7	17.7	11.3	12.9	4.8	4.8	9.7

ライフステージ別でみると、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから」は一人暮らし（47.1%）が4割半ばを超えて高くなっている。「設置が面倒だから」は家族成長前期（30.4%）が3割、「固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから」は高齢期（一人暮らし）（29.2%）が3割弱と高くなっている。

家具の転倒・落下防止器具の未設置理由 ライフステージ別

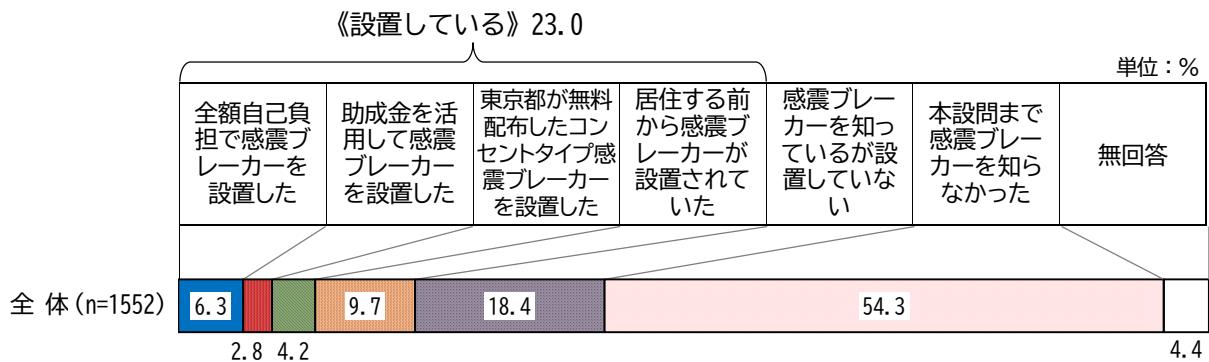
単位：%

		助成制度を知らなかつたから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから	設置が面倒だから	固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから	地震が起きても転倒・落下等しない、または転倒・落下等しても危険ではないと思うから	お金をかけたくないから	持ち家に住んでおり、家具や壁に傷をつけたくないから	固定しても効果がないと思うから	その他	無回答	
ライフステージ別	全体 (n=1140)	37.4	24.5	24.5	20.9	18.1	8.8	8.7	5.5	6.7	2.6	
	家族形成期 (n=145)	40.0	38.6	26.2	17.2	14.5	8.3	7.6	2.1	2.8	1.4	
	家族成長前期 (n=92)	42.4	17.4	30.4	23.9	21.7	5.4	17.4	2.2	6.5	1.1	
	家族成長後期 (n=80)	40.0	13.8	27.5	17.5	21.3	13.8	13.8	1.3	7.5	2.5	
	家族成熟期 (n=89)	41.6	22.5	24.7	16.9	15.7	5.6	12.4	5.6	6.7	1.1	
	高齢期 (n=167)	41.3	10.2	24.0	26.9	18.6	6.6	7.8	10.8	4.8	4.8	
	高齢期(一人暮らし) (n=106)	38.7	27.4	17.9	29.2	21.7	11.3	5.7	4.7	2.8	5.7	
	一人暮らし (n=153)	29.4	47.1	19.6	17.6	17.6	13.7	4.6	3.9	7.8	1.3	
		その他 (n=308)	34.1	18.8	26.0	19.2	17.2	7.5	7.8	7.5	10.1	2.6

(4) 感震ブレーカーの設置状況

◇ 《設置している》は2割強

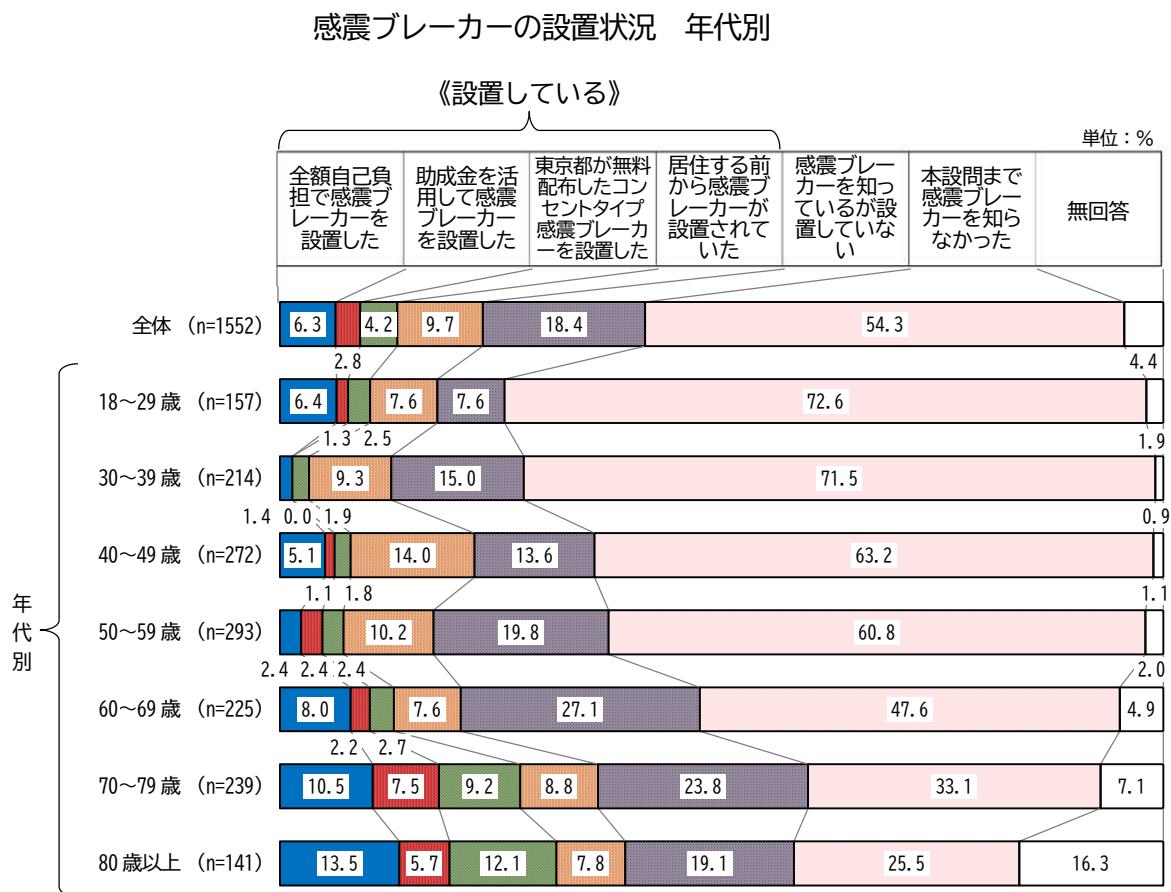
問12 地震発生時の通電火災を防ぐために、強い揺れを感じた時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。(○は1つだけ)



(注) 《設置している》 = 「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」 + 「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」 + 「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」 + 「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」

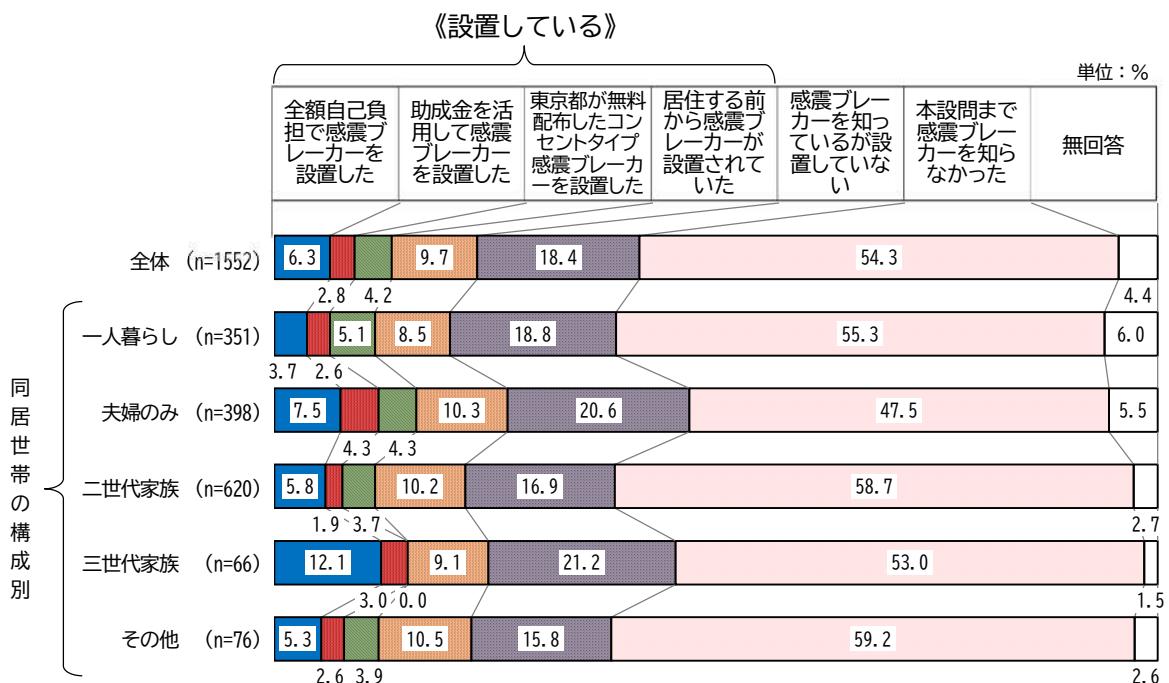
感震ブレーカーの設置状況について聞いたところ、「全額自己負担で感震ブレーカーを設置した」(6.3%) と「助成金を活用して感震ブレーカーを設置した」(2.8%) と「東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した」(4.2%) と「居住する前から感震ブレーカーが設置されていた」(9.7%) を合わせた《設置している》(23.0%) は2割強となっている。「感震ブレーカーを知っているが設置していない」(18.4%) は2割近くで、「本設問まで感震ブレーカーを知らなかつた」(54.3%) が5割を占める。

年代別でみると、《設置している》は80歳以上（39.1%）が4割弱と最も高くなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」は年齢層が低くなるほど割合が高くなっている、18～29歳（72.6%）では7割強となっている。



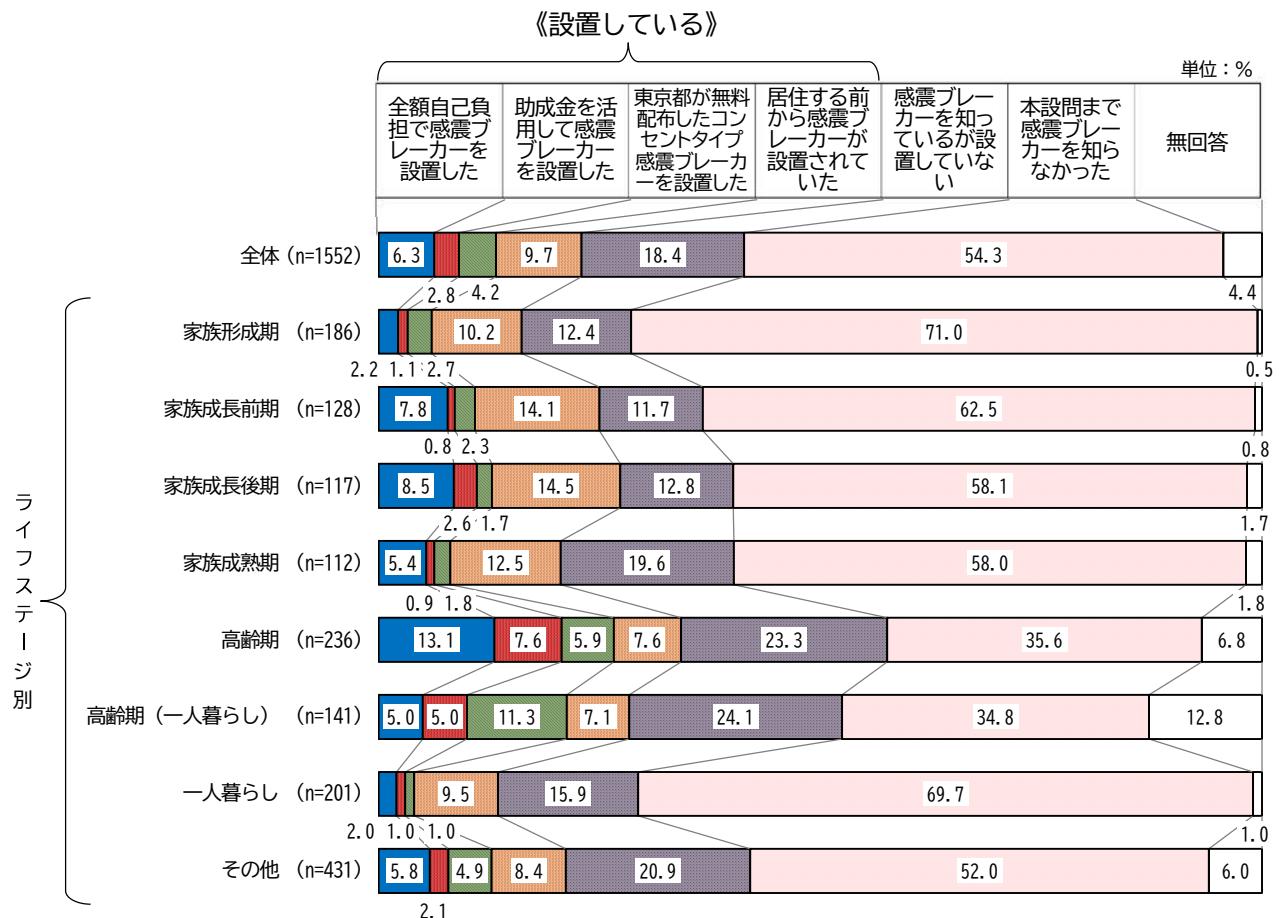
同居世帯の構成別でみると、《設置している》は夫婦のみ（26.4%）が2割半ばを超えて最も高く、次いで三世代家族（24.2%）が2割半ば近くとなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」は夫婦のみ（47.5%）を除くすべての世帯で5割台となっている。

感震ブレーカーの設置状況 同居世帯の構成別



ライフステージ別でみると、《設置している》は高齢期（34.2%）が3割半ば近くと最も高く、次いで高齢期（一人暮らし）（28.4%）が3割近くと高くなっている。「本設問まで感震ブレーカーを知らなかった」では家族形成期（71.0%）が7割強と最も高く、次いで一人暮らし（69.7%）が7割弱となっている。

感震ブレーカーの設置状況 ライフステージ別

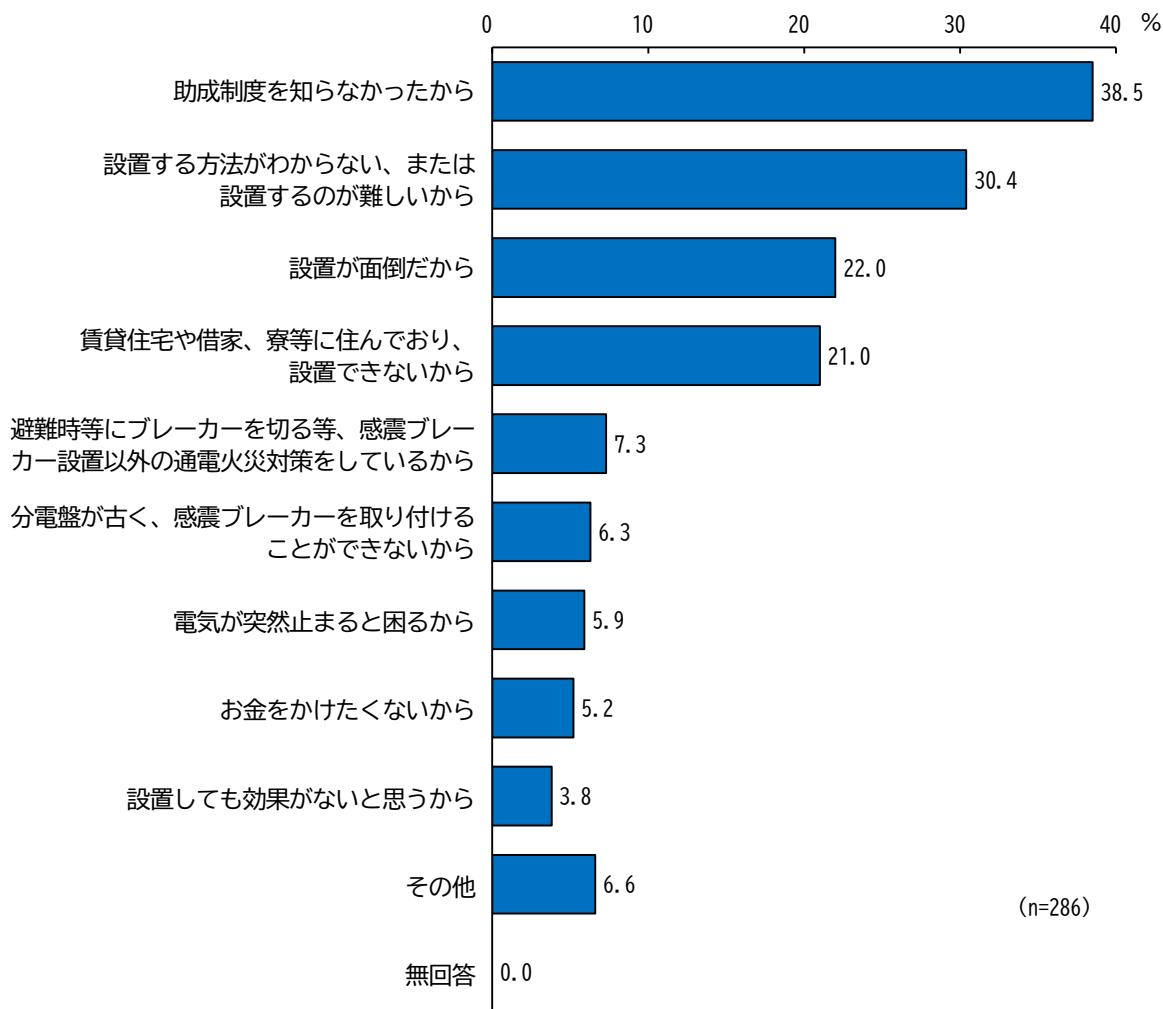


(4-1) 感震ブレーカーの未設置理由

◇「助成制度を知らなかったから」が4割近く

問12-1 (問12で「5」とお答えの方に伺います)

荒川区では感震ブレーカー等の設置について、5千円～10万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、「感震ブレーカー」を設置していない理由を次の中からお選びください。（○はいくつでも）



感震ブレーカーの未設置理由について聞いたところ、「助成制度を知らなかったから」（38.5%）が4割近くと最も高く、以下、「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」（30.4%）、「設置が面倒だから」（22.0%）、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」（21.0%）が続いている。

年代別でみると、「助成制度を知らなかったから」は80歳以上（63.0%）が6割を超え最も高くなっている。「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は80歳以上（44.4%）と70～79歳（40.4%）が4割台、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」は40～49歳（35.1%）が3割半ばと高くなっている。

感震ブレーカーの未設置理由 年代別

単位：%

		助成制度を知らなかったから	設置する方法がわからない、または設置のが難しいから	設置が面倒だから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから	分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	電気が突然止まるところ	お金をかけたくないから	設置しても効果がないと思うから
全体 (n=286)		38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
年代別	18～29歳 (n=12)	33.3	8.3	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3
	30～39歳 (n=32)	31.3	31.3	25.0	28.1	3.1	0.0	9.4	6.3	3.1
	40～49歳 (n=37)	32.4	32.4	18.9	35.1	8.1	5.4	2.7	2.7	2.7
	50～59歳 (n=58)	32.8	24.1	24.1	22.4	1.7	1.7	3.4	8.6	3.4
	60～69歳 (n=61)	37.7	23.0	21.3	13.1	9.8	11.5	6.6	3.3	8.2
	70～79歳 (n=57)	43.9	40.4	22.8	17.5	17.5	5.3	8.8	3.5	1.8
	80歳以上 (n=27)	63.0	44.4	18.5	14.8	0.0	14.8	7.4	7.4	0.0

		その他	無回答
全体 (n=286)		6.6	0.0
年代別	18～29歳 (n=12)	0.0	0.0
	30～39歳 (n=32)	3.1	0.0
	40～49歳 (n=37)	10.8	0.0
	50～59歳 (n=58)	10.3	0.0
	60～69歳 (n=61)	6.6	0.0
	70～79歳 (n=57)	3.5	0.0
	80歳以上 (n=27)	7.4	0.0

同居世帯の構成別でみると、「助成制度を知らなかったから」は夫婦のみ（48.8%）が5割近く、「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は三世代家族（57.1%）が6割近くとなっている。

感震ブレーカーの未設置理由 同居世帯の構成別

単位：%

	助成制度を知らなかったから	設置する方法がわからない、または設置のが難しいから	設置が面倒だから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから	分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	電気が突然止まるところ	お金をかけたくないから	設置しても効果がないと思うから
全体 (n=286)	38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
同居世帯の構成別	一人暮らし (n=66)	25.8	22.7	15.2	31.8	13.6	6.1	7.6	4.5
	夫婦のみ (n=82)	48.8	20.7	23.2	23.2	4.9	8.5	7.3	3.7
	二世代家族 (n=105)	39.0	37.1	23.8	11.4	6.7	3.8	5.7	6.7
	三世代家族 (n=14)	35.7	57.1	14.3	7.1	0.0	14.3	0.0	14.3
	その他 (n=12)	33.3	41.7	33.3	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0

	その他	無回答
全体 (n=286)	6.6	0.0
同居世帯の構成別	一人暮らし (n=66)	3.0
	夫婦のみ (n=82)	4.9
	二世代家族 (n=105)	9.5
	三世代家族 (n=14)	21.4
	その他 (n=12)	0.0

ライフステージ別でみると、「助成制度を知らなかったから」は高齢期（60.0%）が6割と最も高くなっている。「設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから」は家族成長前期（40.0%）と家族成長後期（40.0%）が4割、「賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから」は一人暮らし（40.6%）が4割と高くなっている。「避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから」は高齢期（一人暮らし）（20.6%）が2割と高くなっている。

感震ブレーカーの未設置理由 ライフステージ別

単位：%

		助成制度を知らなかったから	設置する方法がわからない、または設置のが難しいから	設置が面倒だから	賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから	分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	電気が突然止まるとき困るから	お金をかけたくないから	設置しても効果がないと思うから
全体 (n=286)		38.5	30.4	22.0	21.0	7.3	6.3	5.9	5.2	3.8
ライフステージ別	家族形成期 (n=23)	26.1	34.8	17.4	34.8	0.0	0.0	4.3	8.7	4.3
	家族成長前期 (n=15)	20.0	40.0	26.7	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族成長後期 (n=15)	20.0	40.0	20.0	20.0	6.7	0.0	6.7	6.7	20.0
	家族成熟期 (n=22)	27.3	36.4	22.7	22.7	4.5	4.5	0.0	4.5	9.1
	高齢期 (n=55)	60.0	38.2	21.8	5.5	9.1	9.1	5.5	1.8	1.8
	高齢期(一人暮らし) (n=34)	32.4	29.4	8.8	23.5	20.6	8.8	8.8	5.9	8.8
	一人暮らし (n=32)	18.8	15.6	21.9	40.6	6.3	3.1	6.3	3.1	3.1
	その他 (n=90)	46.7	25.6	27.8	21.1	4.4	8.9	7.8	7.8	0.0

	その他	無回答
全体 (n=286)		6.6 0.0
ライフステージ別	家族形成期 (n=23)	8.7 0.0
	家族成長前期 (n=15)	20.0 0.0
	家族成長後期 (n=15)	6.7 0.0
	家族成熟期 (n=22)	18.2 0.0
	高齢期 (n=55)	3.6 0.0
	高齢期(一人暮らし) (n=34)	2.9 0.0
	一人暮らし (n=32)	3.1 0.0
	その他 (n=90)	5.6 0.0